

大会名	第72回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期 日	H30.6.2	会 場	栃木県体育館		取 手 第 二	20	15	27	19		81
審 判	(主) 三好 啓太	(副) 望月 直幸;新井 文明	C 3		アレセイア	11	16	16	16		59

### 茨城県立取手第二高等学校(茨城)

コーチ 佐藤 豊文      A・コーチ 山口 淳一      マネジャー

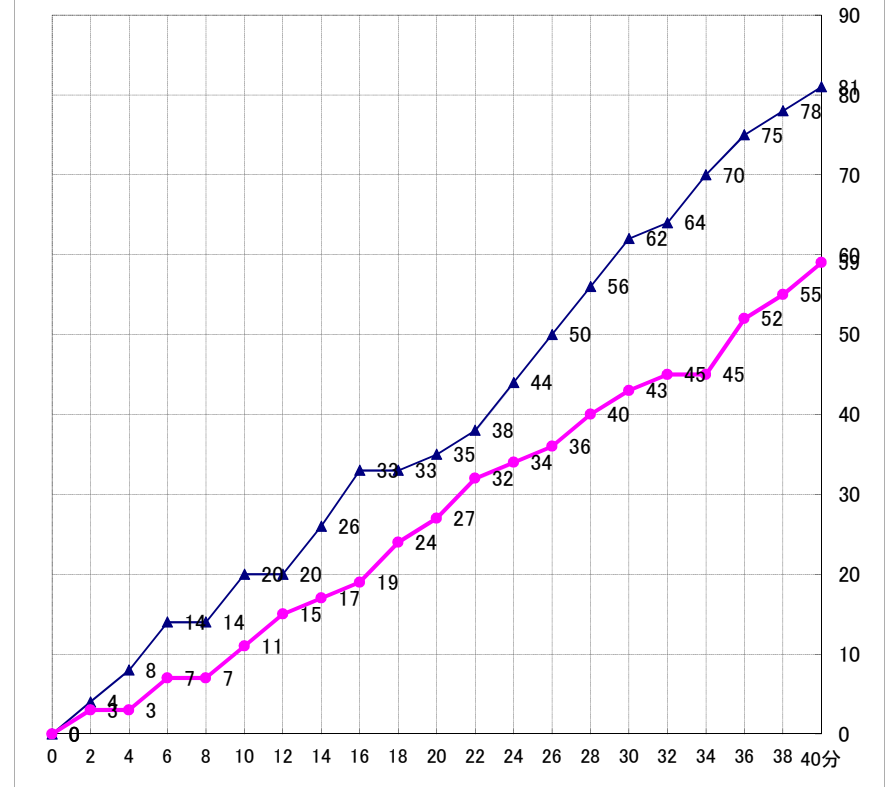
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
田中 辰弥	4	6	2	5	0	2	0	0	1	0	1	1
山田 康祐	5	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1
中川 祥一郎	6	17	3	14	2	4	4	8	4	0	13	13
宇留嶋 晴哉	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
坪田 麗	8	4	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
古沢 斗真	9	4	0	0	2	5	0	0	4	3	6	9
宮内 郁人	10	34	3	6	9	18	7	8	0	0	3	3
佐野 豊	11	7	0	7	2	7	3	4	3	0	5	5
小林 遼	12	4	0	1	1	2	2	3	1	0	1	1
鈴木 勇衣	13	2	0	0	1	2	0	0	2	2	4	6
瀧野 敦	14	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
田村 佑人	15	3	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
野島 海	16	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1
石黒 亮平	17	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
齊藤 巳由宇	18	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
チーム合計		81	9	35	19	42	16	23	20	10	36	46
成功率			25.7%		45.2%		69.6%					

### アレセイア湘南高等学校(神奈川)

コーチ 堀 英樹      A・コーチ 福地 慎司      マネジャー 樋渡 新一郎

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
望月 瑠星	4	9	1	6	2	7	2	2	3	2	2	4
豊田 智己	5	23	3	13	7	11	0	0	4	1	2	3
井関 葵	6	0	0	2	0	6	0	0	5	2	6	8
山口 大樹ロイ	7	16	0	0	7	18	2	5	0	11	8	19
西森 鵬栄	8	0	0	9	0	0	0	0	0	0	5	5
小林 寛大	9	0	0	0	0	7	0	2	1	4	3	7
村田 和基	10	1	0	1	0	2	1	2	0	1	0	1
山本 航己	11	2	0	3	1	3	0	0	5	0	2	2
吉田 佳希	12	5	0	1	2	6	1	2	3	4	3	7
石田 主海都	13											
堀 真之介	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本多 海晴	15	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
門馬 昇汰	16	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
篠木 爽	17	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
ペーヅリアン尚智	18	1	0	0	0	1	2	0	0	0	1	1
チーム合計		59	4	35	19	63	9	17	21	28	33	61
成功率			11.4%		30.2%		52.9%					

### 得点経過



### 戦評

接戦の第2試合の余韻が残る中、定刻より20分遅れての試合開始。先制はアレセイア#5豊田の3P。幸先のいいスタートとなる。一方、取手第二も高い位置からディフェンスを仕掛けるなど、固い守りから#13鈴木ドライブなどで得点を重ねる。アレセイアは#7山口にボールを集めたいが、取手第二のチームディフェンスを崩すことができず、逆にターンオーバーからのファーストブレイクやファールからフリースローを与え1Q20対11と取手第二のリードとなる。2Q両チームともディフェンスの当たりが厳しくなってきた。アレセイアはフリースローのチャンスを確実に決め徐々に点差を詰めていく。しかし、取手第二も#10宮内の3Pなどで応戦。突き放しに掛かりたい取手第二に対して、必死に食らい付くアレセイアという、どちらも一歩も引かない展開。残り時間1分7秒、アレセイア#5豊田の連続得点で再び点差を一桁に戻し、前半は35対27で終了した。3Qアレセイアは#7山口にボールが入るようになり、バスケットカウントを奪い点差を5点差まで詰める。しかし#6井関が今日4つめとなる痛恨のファール。ベンチに下がることになってしまう。波に乗りきれないアレセイア。一方の取手第二は#10宮内のファーストブレイクや#4田中の連続3Pやで突き放しにかけ62対43と、この試合最大の19点差までリードを広げる。4Q疲れが見え始めた両チーム。そんな中、アレセイアの足がやや止まってきた。ディフェンスの戻りも遅れ、立ち上がり3分で8点を与えてしまう。取手第二は、このチャンスを逃すことなく#4田中、#6中川などが着実に点を重ね、最終的に81対59で取手第二が勝利し2回戦に進出した。

記入者 草地由紀也